

令和4年度 教育調査委員会活動方針

広島県連合小学校長会は、永年にわたり学校教育と学校経営に対する真摯な研究と実践を重ねるとともに、教育諸条件の整備に努め、小学校教育のさらなる充実と発展のために鋭意努力を続けてきた。また、昨年度より組織上分離して活動を進めている広島市小学校長会とは、今後も連携調整・情報の共有を図りながら、引き続き本県教育の推進を図っていく。

近年、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新、さらには、相次ぐ自然災害の発生、新型コロナウイルス感染症の影響等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっている。このような先行き不透明な社会において、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、多様な他者への理解を深め、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構築するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができる人材が必要とされている。

こうした時代の要請に応えるため、学校においては、新学習指導要領を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」の理念のもとに、「主体的な学び」を促す教育活動の推進、「GIGA スクール構想」の推進など、よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にし、社会との連携・協働によりその実現を着実に図っていくことが重要である。

我々は、このような現状を深く認識し、「生涯にわたる人材育成」を掲げる広島県総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」、本県教育施策全般の基本的方向を整理した「広島県 教育に関する大綱」、さらに広島版「学びの変革」アクション・プランの趣旨を踏まえ、「広島で学んで良かったと思える 広島で学んでみたいと思われる 日本一の教育権の実現」に向け、校長としてより一層リーダーシップを発揮して「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指小学校教育」を推進し、もって県民の期待に応える学校づくりに努めなければならない。

教育調査委員会は、広島県連合小学校長会の活動方針を基盤として「校長としての倫理観を磨き、より一層リーダーシップを発揮し、信頼と秩序に基づく機動的で活力ある学校体制の確立と校内組織の強化を行う」「教育をよりよくするための『学校における働き方改革』を推進し、教職員のワーク・ライフ・バランスの充実、及び子供と向き合う時間の確保など、教育諸条件の整備・拡充に努める」という目的のもとに調査活動を実施し、広島県内公立小学校の実態把握とその課題を整理し、これらの課題の改善・充実のための資料として情報を共有する。

本調査は、人事給与委員会が実施する実態調査とともに広島県教育委員会との懇談会で活用する。各会員におかれては、自校における教育諸条件の改善の資料として活用することを期待する。

今年度は、広島県連合小学校長会と広島市小学校長会との発展的分離を想定して令和元年度に検討した「今後の県連教育調査の在り方について」を基本とし、次に掲げる各項を活動の重点とする。

- 1 教育調査報告書「広島県公立小学校の実態」の作成
- 2 電子メールや Web 等を活用した同報告書の発行
- 3 効率的な調査方法並びに効果的な報告書活用方策にかかる研究
- 4 報告書活用の促進の方策として報告書（ダイジェスト版）の作成及び配布